

就職先を決定する要因を探求するために ～インタビュー内容の分析結果より報告～



静岡福祉大学社会福祉学部健康福祉学科

副島卓正 村岡徹洋

澤山雄飛 遠藤早紀 水永浩太

はじめに

- 「2015年の高齢者介護」では
高齢者の尊厳を支えるケアを提供する介護人材の確保について
- ①介護現場に高い魅力を持たせること
- ②適時適切な教育研修の体系化、スキル向上の仕組み、従業者としての要件化などを図ると示されている。

現状では介護職に対する専門性や職業としての魅力が十分に伝わっていない。

2015年の高齢者介護の課題

- ①介護予防・リハビリテーションの充実
- ②生活の継続性を維持するための新しい介護サービス体系
- ③新しいケアモデルの確立:痴呆性高齢者ケア
- ④サービスの質の確保と向上

平成25年度静岡福祉大学社会福祉学部健康福祉学科 卒業生就職状況

- 特別養護老人ホーム…18名
- 老人保健施設…1名
- シグマ…1名
- その他…8名
(障害者施設、配属不明等)
- 未内定…1名

計29名

研究目的

- 本学には、介護人材に対しての求人が多い。
- (1)多くの施設・事業所の中で、大学で介護福祉士養成教育を受けた1期生が、就職先をどのように決定したかに疑問をもった。
 - (2)就職先の決定要因を明確にしたいと考えた。

先行研究

【平成20年度静岡福祉大学・短大・専門学校生に対する就労に関する意識調査報告書】
(平成21年3月)

- 「生きがい」や「働きやすい職場環境」を求めている
- 「給与などの待遇面がよいこと」
- 少数ではあるが、利用者がひどい扱いを受けていると感じた学生は施設への就職を辞退する。

【本学部看護学部卒業生の進路決定と就業継続に関する調査】(平成17～19年度卒業生対象平成21年)

- 「立地条件」と「職場の雰囲気」や「新人教育内容の充実度」を重視
- 「家族や友人、先輩などから助言を受ける」

【「大学生に関する意識調査」結果の概要】(2010年11月)

- 全体で「安定性」「将来性」「仕事の面白さ」「収入」「職場の雰囲気」を重視
- 男子は「将来の経済的安定」、女子は「実利的」な項目を重視する傾向がある

研究方法

- 集団による半構造化面接を実施した。
- ICLレコーダーで内容を録音した。
日時:平成24年12月19日(水)
10:40~11:40の概ね1時間
- 録音内容から逐語録を作成した。
- 逐語録を分析し、就職先を決定した要因を探求した。

属性

1. 性別
a.男性:2人 b.女性:5人
2. 内定先
a.法人採用:2人 b.施設採用:5人
3. 介護職以外には興味があったか?
a.ある:0人 b.ない:7人
4. 介護の仕事をいつ頃からめざしたか?
a.小学生:3人 b.中学生:1人 c.高校生:3人
5. 内定先は実習先か?
a.実習先:2人 b.実習先ではない:5人
6. 何ヶ所の施設を見学したか?
a.2ヶ所:1人 b.4ヶ所:3人 c.5ヶ所:2人 d.8ヶ所:1人
7. リクナビは登録しているか?
a.いる:7人 b.いない:0人

就職先を決定した要因:自己実現できる施設・事業に就職したい。

施設に関すること

- ・人事的計画・情報を提示説明できる。
- ・地域との連携がある。地域貢献や地域に貢献した事業をしている。
- ・見学时に施設の設備(ハード)だけでなく職員・雰囲気(ソフト)の印象がいい。
- ・キャリアアップできる仕組みが明確
- ・給与は必ずしも重要ではない
- ・地理的条件は最優先ではない。
- ・設立年数は気にならない。

職員に関すること

- ・良い指導者がいる。
- ・新人教育が充実している。
- ・人間関係をうまくつくれることができそう。
- ・介護の仕事に誇りを持っている人がいる。
- ・一緒に働くことが楽しいと思わせる職員がいる施設は遠慮する。

利用者に関すること

- ・職員とのかかわりを喜んでいるか笑顔で暮らしているか。
- ・喜んでいるか。

まとめ

この結果は、あくまでもインタビュー協力者7名の声をまとめたものである。就職先を決定する傾向として分析結果を受け止めていただきたい。介護福祉実習施設であることが就職に左右するかは、この結果からは読み取ることができない。しかし、将来の夢ややりたい自分を描くことができる施設を探し、奮み、相談し、時間を掛けて就職先を7名は決定していったことは明確だ。

考察

- 給与ではなく、施設内の職員や利用者との人間関係を重要視していると思われる。
- 実習先の理念と本学生の介護の価値観が異なると、実習先ではなく、自分の価値観に近い施設を選ぶ傾向がみられた。
- 地理的条件が悪くても、自分にあった理念の施設であれば就職を希望しているとみられる。
- 先行研究では利用者のことを着目しており、本学生も利用者のQOLを重視している。このことから、ただ自分が働きやすい職場を求めるのではなく、利用者の過ごし方を大切にしていることが推測される。

おわりに

- 今後、高齢者福祉に携わる人材として成長を期待する。
- 一般企業を志望した人の意見も取り入れることにより、違う結果になっていたと考えられる。
- 今後、自分達や後輩達の就職活動に必要な情報が分かると思われる。
- より多くの人数にアンケートをとり、規模を大きくすることで更に詳細な結果を知ることができたと思われる。

御静聴ありがとうございました。

